

■科目の基本情報

・科目番号	01EG141・142
・授業科目名	「こころ」の科学演習1・2
・授業形態	B(演習)
・標準履修年次	1・2年次
・開設学期	通年
・曜時限等	随時
・教室	D505
・単位数	各1

■担当教員等

・担当教員名	山中敏正
・ティーチングフェロー(TF)	
・ティーチングアシスタント(TA)	
・オフィスアワー等(連絡先含む)	火曜17時-18時 李昇姫:seungheekansei@gmail.com

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間のこころに関連した融合的研究課題を多角的に解析できる研究者と教育者、さらに多方面の知識と専門技術を社会で応用できる実践力を持ち、それぞれの組織で指導的牽引力となって複合的問題を解決できる高度専門職業人を育成するために役立ちます。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

横断的な研究課題について進んで議論を行い、横断的な解決案に対して専門的な見地から関わることができる能力を身につける。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

学会などにおける横断的研究のための企画を活用し、企画立案、実施、評価について、ミーティングを行い、その成果を学会などの場で発表する。

・キーワード

横断的研究、学会活動

・授業計画 (Time Table)

第1回ミーティング
第2回ミーティング(企画立案)
第3回ミーティング(実行準備)
第4回ミーティング(実施)
第5回ミーティング(検証)

・履修条件 (Prerequisite)

特になし

■成績評価方法

・評価方法

企画書の内容の具体性と実現可能性, 事後報告書による企画の実施状況, および企画に対する熱意を評価する

・割合

企画書45, 事後報告書45, 熱意10

・評価基準

企画に対する参加意識が高いこと。企画書, 事後報告書の評価のすべてがC段階以上であること

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

感性認知脳科学への招待(筑波大学出版会)

感性の科学(朝倉書店)、

Kansei Research and Design(筑波大学)、

プロダクトデザインのひろがり(工業調査会)

日本感性工学会誌

資料は適宜配布

・授業外における学習方法

メンバーとのミーティングに参加する

・受講生に望むこと(Recommended Background)

研究者にとって学会における議論は自己評価のための重要な要素です。横断的な研究をすすめ、研究者として自立するための機会となりますので、積極的にミーティングに参加することを期待します。

・欠席の場合の措置について

ミーティングで出された課題, 次回までの改善点をレポートにより提出する

・備考